園だより

№10

R5.12.4

大沢幼稚園園長　長友　六月
TEL（762）4389（代）
FAX（762）4386
http://www.ohsawa.ednet.jp/
緊急連絡先　080-2344-7595

各学年の振り返り

○年長組

　就学を前に個々の子どもの育ちを確認しているところです。日本の幼児教育では、「10 の姿」としてあらわしています。

①健康な心と体　②自立心　③協同性　④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり　⑥思考力の芽生え　⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
⑨言葉による伝え合い　⑩豊かな感性と表現

一つひとつ取り上げて説明はしませんが、例えるとすると、
④の幼児期の道徳性とは、“やさしさ”、規範意識とは“ルールを守ろうとする気持ち”と言えます。しかし、やさしさを“言葉”で教えることは難しいです。同じように“ルールだから守りなさい”と教えることをしても生きていくうえで役に立たないことは皆さんも承知の通りです。兄弟姉妹のように、一緒に遊ぶ中で「あこがれ、教える、配慮してあげる」中でこそ“やさしさ”は育ちます。大人が決めたルールや約束ではなく、人と人が心地よく過ごすために必要なことはなにかを、ぶつかり合い、葛藤するなかで、見つけていくことが大事です。
子ども達が 10 の姿に近づいているかではなく、私自身そして、保護者自身が十分に時間や環境を用意してあげられたのかが問われていると思います。

○年中組

　チャレンジクラブ（サッカー・ダンス・体操）がはじまりました。子どもからは、“緊張した”“たのしかった”“また、やりたい”という声が、講師陣からは、「話をよく聞き、意欲的に取り組んでいる」という声が聞かれました。クラスを解体して大丈夫かな？という一抹の不安をも吹き飛ばして楽しく活動できています。活動・人（他のクラスの子や講師陣）に対しての興味や関心が高く、自ら関わろうとする姿が見てとれます。
繋がる年中！新しい芽が伸びていくのが嬉しいです。

○年少、年少々組

「自分が・自分が」という自我が強くなる時期でもあります。一般的に出来たことを褒めることが多いですが、待てた時、我慢できた時に褒めることを意識する時期でもあります。例えて言うなら、信号を理解しはじめの頃に、赤信号で待てた時に、“よくまてたね～”と声を掛けることは自然と行っている行為です。かけっこで走り出す“ＧＯ”を認めることが多いですが、“よ～い・どん”まで我慢“ＮＯ　ＧＯ”ができることに目を向け、認めてあげる時期も大事です。これは自分の気持ちを調整することにもつながります。幼児期のみならず、これからの学校生活においても、知識・技能を習得すると同時に、知識・技能を使って自分なりに思考する（考える）、判断する、表現することが不可欠になります。そして、良い学びの循環を生み出すためにも興味・関心を持てる環境と「待つこと、我慢すること」を上手に教え、身に付くようにしてあげることが大事なことです。

お知らせ

○さくら組　先崎華子先生がご結婚され、白石華子となりました。
○昨年度まで調理及び事務を担当していた山口愛里さんは 11 月をもって退職となりました。

子育て応援（元気のもり）「遊ぶ友達がいない」「子育てに不安がある」など、小さいお子さんを抱えるママたちから聞こえる声です。子どもの成長にとっては、のびのび遊ぶこと・人や自然と関わることは今も昔も変わらず大事なことです。「元気のもり」は、そんな環境づくりや、子育ての応援活動をしています。ご近所に対象児がいましたら、お声がけください。

＜今月の歌＞

少し気が早いですが、12 月の歌は「もちつき」です。歌詞からも最後の大仕事、もちつきの情景が浮かんできます。昔からの年中行事（ねんじゅうぎょうじ）です。近年は、食品衛生管理や喉に餅を詰まらせる気道閉塞の危険性があり、幼稚園を含め多くの施設での提供が難しくなってきています。

「もちつき」　　作詞　小林　純一
作曲　中田　喜直

もちつき　ぺったんこ　それつけ　ぺったんこ
ついたら　のばーして　のーしもち　ぺったんこ
ぺったん　ぺったん　ぺったんこ
もちつき　ぺったんこ　それつけ　ぺったんこ
ついたら　まるーめて　かがみもち　ぺったんこ
ぺったん　ぺったん　ぺったんこ